五泉市まち･ひと･しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金（加速化交付金）事業効果検証シート

公表用

※評価方法については、別紙「事業効果検証・評価について」をご確認ください。

(3)事業No.	(4) 事業名	(5)主担当課	(6)交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費（決算額）単位：千円	・交付金申請におけるKPI 指標	基準値 H26年度	指標値 H28年度	実績値 H28年度	達成状況	事業終了後における事業効果 評価	事業終了後における事業効果 理由	(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見 評価	(11) 外部有識者の意見 意見
30	五泉ニット製品開発事業（基礎）	商工観光課	基礎	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。試作品の製作、イタリアでの評価、イタリア企業との仮調印を行い、事業終了。	－	平成２７年度事業のため、平成２８年度に検証済み。							交付金活用の単年度事業。 H28年度以降は「五泉ニット地域ブランド化事業」として継続支援。	・現在の取組み、方向性は正しいと思われるので、継続した取り組みが必要。 ・メディア、雑誌等への露出はやはり影響・反響が大きく、宣伝効果が大きいと思われる。費用的な課題はあろうが、そこをうまく活用できるようさらに工夫していくことが必要と考えらえる。 ・ニットを五泉市の特産品・主要産業として認識する『まちぐるみ感』が乏しい。小さいころからニットになじんでいったり、市内企業のニット制服化を進めたりする等の取り組みが必要。 ・五泉のニットが良いものであることは分かるが、どこで売っているか、五泉市内で販売している場所があるのかが分からない。店舗等で陳列するなどPRの工夫が可能と思われる。 ・生産方式が、現在のOEM（納入先ブランドの製品生産）から自社ブランド化へ移行でき、かつ堅調に販売が行われることが理想である。その実現によりKPI3・4への寄与が期待される。 ・新規採用募集をする企業はあるものの、人材が集まらない現状を打破するため、継続した支援が必要。	1 （本事業は五泉市総合戦略のKPI達成に有効であった。）	・ニット組合では人材、地域活性化、新規開拓、PRということで4つの分科会で連携して地域ブランド化を進行している。4つの分科会の活動により、全国からニットを作りたいという人を雇用することによって、地域活性化、人口増、生産額の増に繋がると考えられる。 ・ニットフェスで工場見学を行うことによって、従業員への刺激、ニットを知ることによって働きたいという人が現れたりしているので、両方にとっていい取組みだと思う。 ・ニットフェスについて、ＰＲや工場見学など他産地ではここまで取り組まれていないので、素晴らしい取り組みだと思う。しかし、一部の企業は盛り上がっているが、一般市民はいつもと変わらない感じなので、五泉市全体の街ぐるみ感が乏しかったと感じる。そこが今後の課題と思う。 ・五泉ニットのロゴが確立され、県内外・海外へPRして五泉ニットの価値を高めていく、その一つの大きな布石を今回実現したので、ますますの活躍を期待する。 ・ブランド化というところでは海外の評価も大変重要になってくると思う。
	五泉ニット製品開発事業（上乗せタイプⅡ）		上乗せタイプⅡ	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。計画策定のため委員会を開催、視察研修を行い、事業終了。	－	平成２７年度事業のため、平成２８年度に検証済み。										
31	五泉ニット地域ブランド化事業（加速化）	商工観光課	加速化	平成28年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す取組みに対して支援。品質基準を満たしたニット製品の開発、次世代を担う人材育成のための技術訓練を行い、事業終了。 交付金申請における右のKPIを達成した。	13,746	1. 五泉ニット地域ブランド品質基準を満たしたニット商品の開発	0型	50型	50型	達成	B （相当程度効果があった。）	4「産地でのニット生産額」について未達成となったが、指標値の98%の実績があるため、おおむね達成していると評価した。	交付金活用の単独事業。 H29年度以降は「五泉ニット地域ブランド化事業（推進（横展開タイプ））」として継続支援。			
						2. 新卒・中堅技術者合同技術訓練参加者数	0人	20人	26人	達成						
						3. ニット従業者の雇用数	625人	635人	638人	達成						
						4. 産地でのニット生産額	115億円	118億円	116億円	未達成						
	五泉ニット地域ブランド化事業（推進（横展開タイプ））	商工観光課	推進（横展開タイプ）	H28年度は未実施	－	平成30年度に検証する。							H29年度以降も五泉ニット組合への支援を継続し、国内外に認知される産地ブランド化の確立を目指す。 ①後継者・技術者の育成 ②ニット産業を核とする街づくり ③市場開拓・販売ルート開発 ④五泉ニット知名度を上げるためのメディア戦略の実施			

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金（加速化交付金）事業効果検証シート

公表用

※評価方法については、別紙「事業効果検証・評価について」をご確認ください。

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 （決算額） 単位：千円	・交付金申請におけるKPI							(9) 次年度以降の 事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見	
						指標	基準値 H26年度	指標値 H28年度	実績値 H28年度	達成 状況	事業終了後における 事業効果					
											評価	理由			評価	意見
47	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 （基礎）	商工観光課	基礎	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。新商品2点の開発を行い、事業終了。	―	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。							交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降も継続支援。	H29年度にさくらアロマ工房が完成することで原料を製造するだけでなく、通年を通じて立ち寄れる休憩所（おみやげの販売やカフェ）として利用する。 桜の時期だけでなく、通年楽しめる新しい観光拠点、情報発信の場所として有効活用できると思われる。	1 （本事業は五泉市総合戦略のKPI達成に有効であった。）	・開発した商品について、他の一般的にあるそういった商品と比較して選ばれるための売りが必要だと思う。また、この事業で商品販売と集客をうまくリンクさせるよう考えてもらいたい。 ・なにもやらないより非常にいい。ただし、本腰でやるために開発・製造・販売のノウハウを持った人と協力し行ってほしい。税金を投入するわけなので、毎年赤字を出す訳にはいかない。費用対効果などを考えて取り組んでもらいたい。 ・観光客が来たときのお土産として、クリームだけでは手が出しにくいので、おまんじゅうなど手の出しやすい食品を考えてもいいのでは。 ・市外から来た人からすると、桜というと”村松の桜”が知名度がある。村松の言葉も入れてはどうか。 ・抗酸化作用とリラクゼーションを商品にうたいにくいようではあるが、桜から初めてエキスがとれたということで、上手にPRしていってほしい。 ・商品を作って儲けようとしているのか、客寄せのための目玉商品を作ろうとしているのか、その辺を事業ベースにどのようにのせるのか、もう少し詰めて検討する必要があると思う。
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 （上乗せタイプⅡ）	商工観光課	上乗せタイプⅡ	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。食品・化粧品原料としての品質・規格確立を行い、事業終了。	―	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。										
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 （加速化）	商工観光課	加速化	・五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。特許取得に関する事務を進め事業終了。 ・桜アロマ商品開発支援補助金 8,700千円 ・有効成分に関する特許権取得委託料　63千円 交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	8,763	1. イベント来場者数	286,300人	230,000人	225,500人	未達成	B （相当程度効果があった。）	イベント来場者数は、春の花シリーズにおいて天候と開花状況、休日との重なり具合がうまく合わずによるものであり、観光客宿泊数は、咲花温泉で旅館１館（H28年9月）の閉館があり影響したと考えられる。達成はしなかったが、概ね評価できると判断する。	交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。			
						2. 観光客宿泊数	55,146人	57,000人	51,731人	未達成						
						3. ごせん桜アロマ事業所の創業	0件	0件	0件	未評価						
						4. 事業化による雇用創出数	0人	0人	0人	未評価						
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 （推進(横展開タイプ)）	商工観光課	推進(横展開タイプ)	H28は未実施	―	平成30年度に検証する。							H29年度も引き続き五泉市観光協会に対し補助金支援。 ・市場調査、販促活動 ・成分分析 ・癒し効果の評価、抗腫瘍物質の同定実験 ・学会への出展 ・有効成分に関する特許権取得			
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 （拠点整備）	商工観光課	拠点整備	H28→H29の繰越事業 H28はアロマ工房建設設計委託に着手した。	―	平成30年度に検証する。							H29年度はアロマ工房の設計委託、建設工事を行う。			